

講義および演習環境に接続するための事前確認

注意事項.....	1
作業 1 : Zoom 会議への接続テスト	2
作業 2 : Azure Lab Services へのサインインと Lab 仮想マシンへの RDP 接続テスト.....	3

注意事項

- この手順は、**必ず**トレーニング コース**受講当日**に使用する **PC および 場所 (ネットワーク)**で行ってください。
 - ✓ 画面や操作手順は、予告なく変更になる場合があります。
- 演習用の PC は、**Windows 11** をご使用ください。
- 会社ネットワークや会社デバイスを使用されている場合、会社のポリシーによって、通信ポートや特定サイトへのアクセスが制限され、ハンズオン演習が実施できない場合があります。この事前確認作業が失敗する場合は、ご自宅のネットワークや個人のデバイスなど、**制限のない環境** での受講をご検討ください。
- Lab 仮想マシンへの RDP 接続テストは、メンテナンス時間 (AM 1:00-5:00) 内は行うことができません。
- 演習用 Web ブラウザーは、**Microsoft Edge** または **Google Chrome** を使用してください。
 - ✓ Web ブラウザーから特定のサイトにアクセスする際、確実に指定されたアカウントでサインインするためには、Microsoft Edge の **InPrivate モード**や Google Chrome の**シークレット ウィンドウ**をご使用ください。
- ハンズオン演習で使用する PC とは別に、**2 つ目のデバイス**をご用意いただくことを、強く推奨いたします。
 - ✓ 2 台目のモニター、2 台目の PC、タブレット端末など
 - ✓ これは、講師の画面を表示しながら、演習を行ったり、デジタル テキストを表示したりするためです。
 - ✓ なお、Zoom 用と演習用で別々の PC を使用される場合、演習環境からも Zoom チャット操作を行っていただく場合があるため、研修で使用されるすべての PC から Zoom への接続テストを行うことを推奨します。

作業 1 : Zoom 会議への接続テスト

このトレーニング コースは、Zoom 会議を使用します。事前に下記手順を実行して、受講者が利用されるネットワーク環境から Zoom 会議に接続できることを確認します。

1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します。
2. 「Zoom のテスト サイト」にアクセスします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083/>

3. Zoom テスト ミーティングに参加するための「前提条件」と「方法」が表示されます。

The screenshot shows the Zoom support website in Japanese. The main heading is 'Zoom テスト ミーティングに参加する' (Join Zoom Test Meeting). Below the heading, there is a section for '前提条件' (Prerequisites) which lists 'Zoom デスクトップ クライアント' (Zoom Desktop Client). Another section, 'テスト ビデオ コールを作成する方法' (How to create a test video call), provides a numbered list of steps: 1. Access <http://zoom.us/test>. 2. Click the [参加] (Join) button to start Zoom. It also includes a note about installing the desktop client if it's not already installed. The left sidebar contains a list of related articles under the category 'ミーティングの作成とスケジュール' (Meeting creation and scheduling).

⇒ 指示に従ってテスト ミーティングに参加します。

※ 受講当日の接続コードおよびパスワードは、別途ご案内いたします。

作業 2 : Azure Lab Services へのサインインと Lab 仮想マシンへの RDP 接続テスト

このトレーニングでは Azure Lab Services で動作する仮想マシン (Lab VM) を使用して演習を実施いたします。事前に下記手順を実行して、受講者が利用されるネットワーク環境から、Lab VM に接続できることを確認してください。

1. トレーニング コース受講時に使用される PC およびネットワーク環境で Web ブラウザーを起動します。
2. Azure Lab Services にアクセスします。

<https://labs.azure.com>

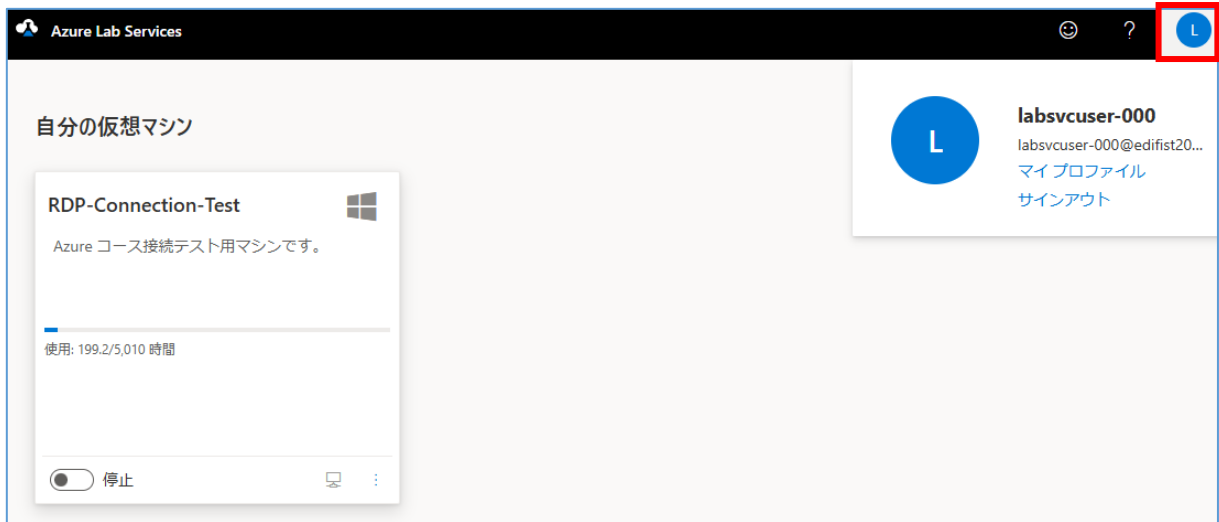
3. Azure Lab Services のホームページが表示されるので、画面中央の [サインイン] をクリックします。



4. 次の接続テスト用アカウントで、サインインします。
 - ・ ユーザー名 : labsvcuser-000@edifist20outlook.onmicrosoft.com
 - ・ パスワード : Pa\$\$w0rd1234%

⇒ Azure Lab Services の画面が開きます。

5. 画面右上のアイコンをクリックし、テスト アカウントでサインインできたことを確認します。



⇒ テスト アカウントで Azure Lab Services に接続できました！

6. [自分の仮想マシン] が「停止」した状態の場合、仮想マシンを起動するため、[停止] スイッチ ボタンをクリックします。



⇒ スイッチ ボタンが「停止」→「開始しています」→「実行中」に変化します (起動には数分かかります。)

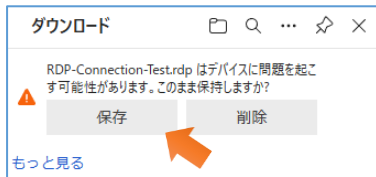
7. ここで [実行中] スイッチ ボタンの右隣にある PC アイコンをクリックします。

(PC アイコンにカーソルを合わせると、[仮想マシンに接続する] と表示されます)

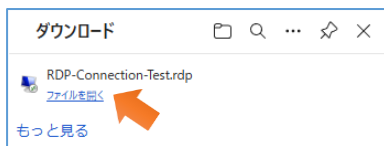


⇒ 「RDP-Connection-Test.rdp」という名前のファイルがダウンロードされます。

8. 次のメッセージが表示された場合は、[保存] ボタンをクリックします。

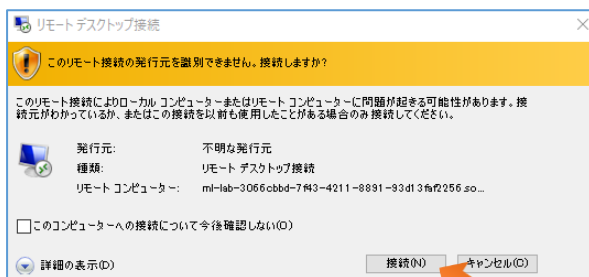


9. ダウンロードされた RDP ファイルを開きます。



⇒ [リモート デスクトップ接続] が表示されます。

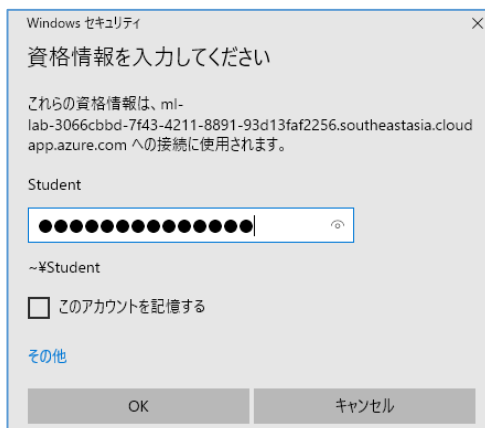
10. [接続] ボタンをクリックします。



⇒ [資格情報を入力してください] が表示されます。

11. Student アカウントのパスワードを設定後、[OK] ボタンをクリックします。

- パスワード : Pa55w.rd2005!

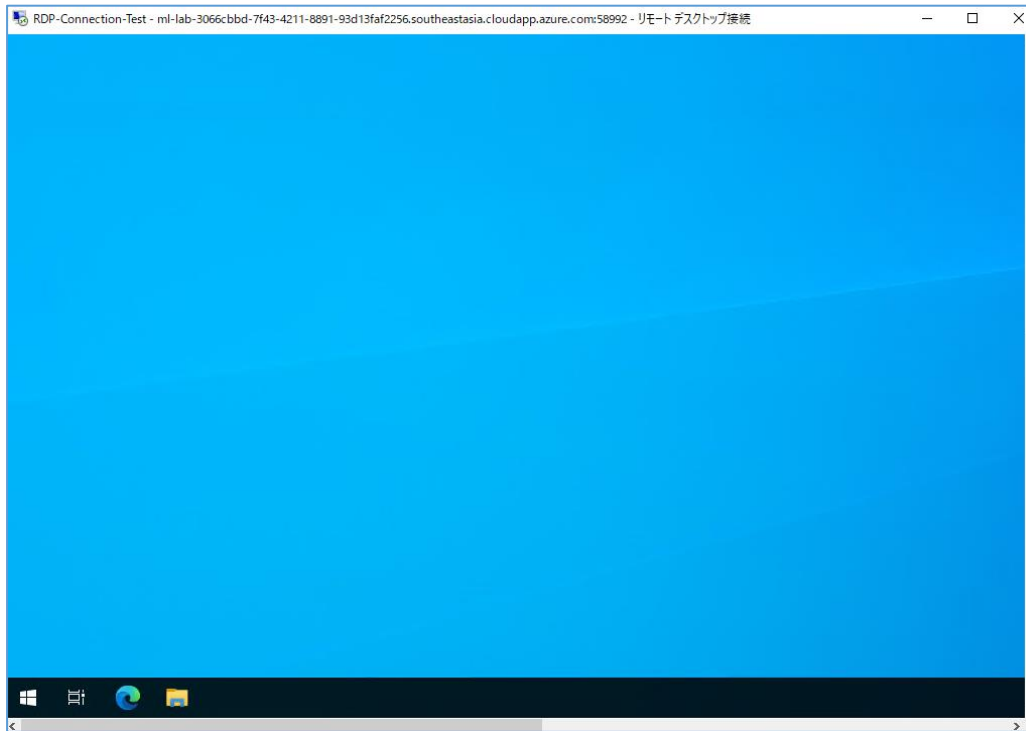


⇒ [このリモート コンピューターの ID を識別できません。接続しますか?] と表示されます。

12. [はい] ボタンをクリックします。



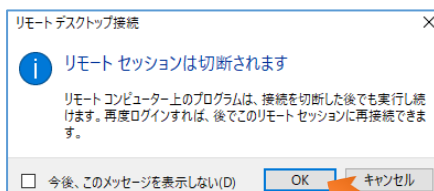
13. リモート デスクトップ接続の画面が表示されます。



⇒ テスト アカウントで Lab 仮想マシンに RDP 接続できました！

14. 画面右上の [×] をクリックし、リモート デスクトップ接続ウィンドウを閉じます。

15. 「リモート セッションは切断されます」というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ ここで、Azure Lab Services の画面に戻ります。

16. 仮想マシンを停止するため、[自分の仮想マシン] の [実行中] スイッチ ボタンをクリックします。



17. 仮想マシンが「停止しています...」という状態になったことを確認します。(停止には数分かかります。)



18. Azure Lab Services からサインアウトし、Web ブラウザーを閉じます

(仮想マシンが完全に停止していなくても大丈夫です)。

“事前確認” は、これで終了です。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。
